

島根県で確認されたオオバメギとその現状について

柴田 一樹*・柳浦 正夫**・井上 雅仁***

Current situation of *Beberis tschonoskyana* Regel from Shimane Prefecture

Kazuki Shibata*, Masao Yagiura**, Masahito Inoue***

Keywords : *Beberis tschonoskyana*, *Beberis thunbergii*, Shimane Prefecture, mowing

キーワード : オオバメギ, メギ, 島根県, 草刈り

1. はじめに

オオバメギ (*Beberis tschonoskyana* Regel) はメギ科メギ属の落葉低木で、分布域は本州 (関東以西)、四国、九州の温帯に生育する。島根県では類似種のメギの生育は知られているが (杵村, 2005; 井上ほか, 2009; 井上, 2014; 2020), オオバメギの生育は知られていなかった。2010年6月, 島根県益田市内の林道で, メギ (*Beberis thunbergii* DC) と似ているが, 明らかに背丈も葉も大きい個体があった。類似種であるメギは枝に溝や稜があるのに対し, 本種は明らかな溝や稜が無いことからオオバメギと同定した (図1)。また, 井上も2002年9月に同所で本種を確認している。



図1 オオバメギ若枝と葉

その後は未確認であったが, 2025年に以前確認していた箇所を確認に行ったところ, 本種の生育を確認した。島根県ではこれまで公表されてこなかったが, この度生育を確認したので, ここに報告する。

2. 中国地方の分布状況

広島県におけるオオバメギの記録としては, 比婆山, 帝釈峡, 湯来町, 東城町で標本が採集されている (広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会, 1997)。また国立科学博物館が運営するサイエンスミュージアムネットのデータベースによると, 佐伯郡吉和村, 山県郡戸河内町で採取された標本がある。筆者である柴田も過去に恐羅漢山周辺で生育しているのを確認している。

山口県では, 羅漢山, 寂地山で記録があるが, 分布状況は稀とされる (岡ほか, 1972)。またサイエンスミュージアムネットのデータベースによると, 玖珂郡錦町および高根村で採取された標本がある。

鳥取県では, 氷ノ山山系の高所の灌木帯でみられる (鳥取県植物誌研究会)。鳥取県生活環境部みどり豊かな自然課(2023)によれば, 氷ノ山の標本が残っており, 2006年の調査では生育が確認されていたが, 2021年の調査では見つからず, 現状不明である。

* 島根植物研究会, 〒699-0110 島根県松江市東出雲町錦新町 6-1-9-201

Shimane Plant Reserch Group, 6-1-9-201, Nishiki-shin-machi, Higashi-izumo-cho, Matsue, Shimane 699-0110, Japan

** 島根県立松江北高等学校, 〒690-0872 島根県松江市奥谷町 164

Shimane Matsue Kita High School, 164, Okutani-cho, Matsue, Shimane 690-0872, Japan

*** 島根県立三瓶自然館, 〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel), 1121-8 Tane, Sanbe-cho, Ohda, Shimane 694-0003, Japan

岡山県では、県北部と中部の二次林内に分布するが、生育状況は少ないとされている(岡山県, 2019)。

鳥根県内では、標本の記録は無く(井上ほか, 2009; 井上, 2014; 2020), また本種が記載された既存文献もみられなかった(杵村, 2005; 2006)。

3. 生育の状況

2010年6月に益田市の林道でオオバメギを確認していたが、遠方であることからその後の確認はできていなかった。2025年10月19日に以前生育していた箇所を確認に行ったところ、低木やつる性植物類が繁茂しており、一見、生育しているかどうかは確認出来なかった(図2)。藪をかき分けたところ、その奥に本種を1株確認した。茎は高さ1mくらいで、地下から3本ほど生えていたが、他の低木やつる性植物に覆われていたため、いずれも葉を十分に展開出来ていない状況であった。また、その近くでもう1株の生育を確認したが、この株はより脆弱な株で、葉を数枚程度しか展開していなかった。さらに周辺を探してみたが、他には見つけることができなかった。2010年に確認した際にはもう少し、しっかりした株であったと記憶しているが、2025年の確認では、華奢な株しか確認できなかった。おそらくは採集の対象とはなっていないと思われるが、草刈りなどの整備の度に刈られて、成長するとまた刈られる、この繰り返しを経て現状の株となっているのではないかと推察される。現時点では2個体しか確認ができておらず、それぞれの生育状況



図2 林道脇のオオバメギ生育地

は極めて危機的で、周囲の低木等を刈るなどして、日の当たる状況下においてやらなければ、消失も免れないと思われる。また、整備される際に刈り取られないような働きかけも必要であろう。いずれにしても慎重に対応しなければ危機的状況は改善されないと思われる。

また、近県でも点々と生育の記録があることから、鳥根県内の他の箇所においても、生育している可能性はあると思われる。今後の調査等による新たな生育地の発見に期待したい。

引用文献

- 広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会 (1997) 広島県植物誌. 832pp. 中国新聞社. 広島.
- 井上雅仁・松村美雪・野上篤孝(2009) 杵村喜則氏収集植物標本目録(Ⅰ). 83pp. 鳥根県立三瓶自然館・財団法人しまね自然と環境財団. 鳥根.
- 井上雅仁(2014) 杵村喜則氏収集植物標本目録(Ⅱ). 103pp. 鳥根県立三瓶自然館・財団法人しまね自然と環境財団. 鳥根.
- 井上雅仁(2020) 杵村喜則氏収集植物標本目録(Ⅲ). 101pp. 鳥根県立三瓶自然館・財団法人しまね自然と環境財団. 鳥根.
- 国立科学博物館(2018) サイエンスミュージアムネット. <https://science-net.kahaku.go.jp/>. (2025年12月17日閲覧)
- 岡 国夫・真崎 博・勝本 謙・見明長門・三宅貞敏(1972) 山口県植物誌. 607pp. 山口県植物誌刊行会. 山口.
- 岡山県野生動植物調査検討会編(2023) 岡山県野生生物目録2019. 岡山県環境文化庁自然環境課. 岡山.
- 大橋広好・門田裕一・木原 浩・邑田 仁・米倉浩司(2016) 改訂新版日本の野生植物2. 115pp. 平凡社. 東京.
- 杵村喜則(2005) 鳥根県の種子植物相. 鳥根県立三瓶自然館研究報告 3: 1-49.
- 杵村喜則(2006) 鳥根県の種子植物相(補遺). 鳥根県立三瓶自然館研究報告 4: 41-43.
- 鳥根県生活環境部みどり豊かな自然課(2023) レッドデータブックとっとり第3版2022-鳥根県の絶滅のおそれのある野生動植物-. 305pp. 鳥根.
- 鳥根県植物誌研究会(2013) web版 鳥根県植物誌. <http://floratottori-trial.seesaa.net/>. (2025年12月17日閲覧).